



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アールシーコア

コード番号 7837 URL <https://www.rccore.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二木 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務責任者 (氏名) 鎌田 大樹 TEL 03-5990-4070

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,639	△10.4	0	-	△8	-	2,821	-
2023年3月期第3四半期	10,755	△10.2	△603	-	△591	-	△613	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,843百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △621百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	665.31	-
2023年3月期第3四半期	△145.34	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	8,698	3,726	42.8	878.54
2023年3月期	11,195	881	7.9	207.92

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,726百万円 2023年3月期 881百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△13.9	△550	-	△570	-	2,300	-	542.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,536,400株	2023年3月期	4,536,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	294,370株	2023年3月期	295,670株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,241,638株	2023年3月期3Q	4,218,064株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式（2024年3月期3Q 294,138株）が含まれております。また、株式給付信託口及び役員株式給付信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期3Q 294,530株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	10
生産・受注及び販売の実績 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や輸出などに足踏みがみられるものの、雇用や所得環境が改善するなか、国内景気は緩やかに回復の動きがみられました。しかしながら、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気の下押しリスクとなっています。またウクライナやパレスチナ情勢、物価上昇、金融資本市場の変動等による影響にも注意を要する状況にあります。

住宅市場においては、コロナ後の消費行動の変化や価格上昇により、新設住宅着工は弱含んでおり、特に持家の着工数は2年に亘り昨年同月割れと厳しい状況が継続しております。

このような事業環境の下、当社グループでは、BESS事業において原点回帰を掲げ、LOGWAY等での感動を起点としたファンづくりをベースとする農耕型営業を推進するとともに、集客強化策としてSNS（YouTube、Instagram等）での発信の強化や新商品の開発等を進めてまいりました。

当第3四半期における新規来場数は前年同期比121.1%と伸ばしましたが、連結契約（受注）高においては、桮（ふもと：不動産）事業及び特建（BtoB）事業が安定せず、6,831百万円（前年同期比8.7%減）となりました。それにより、期末契約（受注）残高は6,237百万円と前連結会計年度末比で28.0%減少しており、引き続き契約（受注）増に向けて、営業力の強化に注力していきます。具体的には、以下の取り組みを進めております。

- ・新商品の「三角WONDER 間貫けのハコ」を2023年10月21日に販売開始しました。これは、“つながりのある暮らし”をコンセプトに、日本家屋にある縁側を配して、内装には国産杉をふんだんに使用し、外観はアルマジロをモチーフにシンプルで愛嬌のあるかたちをした商品です。それと同時に、BESSのホームページにおいて本商品の紹介に新表現方法を用いるなど、オウンドメディアによるブランドプロモーションを新たにスタートさせました。2023年12月には、BESS熊谷にて本商品のモデルハウス第1号がオープンしており、この後も、全国にて順次モデルハウスが完成予定となっております。
- ・さらに、「三角WONDER 間貫けのハコ」シリーズに大きさの違う2タイプを開発し、2024年1月より追加販売を開始しました。
- ・「栖（すみか）ログ」の魅力向上に向け、顧客からの反響を踏まえ、新たな空間提案で顧客の想像力を引き出し、遊び心を広げるプランやアイテムを追加しました。
- ・「桮暮らし」に関連し長野県小諸市と移住定住促進を軸とした提携協定を締結しました。なお、小諸市にて宅地販売しておりました「小諸 梅の坂下 FuMoTo」は全20区画を完売しました。
- ・特建（BtoB）事業において、北海道厚沢部町にて「栖ログ」をベースとした保育園留学の寮を株式会社キッチハイクと共同プロデュースすることとなりました。
- ・また、日本初となる防火地域での3階建てCLT（直交集成材）ログハウスを東京都福生市で竣工しました。「木材現わし」であるログハウスは、法律上、防火地域では2階までの建築のみとなっておりましたが、2023年2月に「90分準耐火構造認定」を取得することで、今回の建築が実現しました。SDGs/脱炭素など環境意識の高まりや2019年建築基準法の一部改正に「木造建築の促進」が盛り込まれたことも背景に、今後は、個人住宅、共同住宅、低層ビル、商業施設も対象にした営業活動を進めていきます。
- ・上記小諸市と厚沢部町は、創意・工夫ある「地域づくり」の優良事例を表彰する国土交通省の令和5年度「地域づくり表彰」受賞団体に選ばれました。

現在BESS MAGMAとして営業している代官山の資産譲渡に係る引渡しは2023年4月25日に完了しました。なお、本譲渡契約上の明渡しは2025年4月であり、それまでの期間は従来通りに営業を継続します。

こうした状況のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結売上高は9,639百万円と前年同期比10.4%の減少となりました。連結営業利益については、前期に実施した商品価格改定に伴う売上総利益率の回復があったものの、集客強化のためのマーケティング投資などにより99千円（前年同期は603百万円の損失）となりました。以下、連結経常損失が8百万円（同591百万円の損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、代官山資産の売却益が大きく寄与して2,821百万円（同613百万円の損失）となっております。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

① 直販部門

連結売上高の34.8%（外部顧客売上高ベース）を占める直販部門は、東京都・代官山の「BESS MAGMA」、東京都・昭島の「BESS多摩」及び神奈川県「BESS藤沢」の直営3拠点で、東京・神奈川圏を中心とする顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は3,388百万円（前年同期比7.3%減）となり、セグメント利益は436百万円（同81.5%増）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は2,184百万円（同20.3%減）となりました。

② 販社部門

連結売上高の28.0%を占める販社部門は、全国の地区販社に対して、BESSブランドと販売システム等を提供するとともに、BESS企画型住宅の部材キット等を供給する事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、4,176百万円（前年同期比11.7%減）となり、セグメント利益は352百万円（前年同期は227百万円の損失）となりました。

また、セグメント契約（受注）高は3,051百万円（同9.1%増）となりました。

③ 株式会社BESSパートナーズ（以下、BP社）

連結売上高の37.2%を占める国内連結子会社グループのBP社は、株式会社BESSパートナーズが運営する千秋（秋田県）、熊谷（埼玉県）、水戸、つくば（茨城県）、富士、浜松（静岡県）、東愛知（愛知県）、糸島（福岡県）、熊本（熊本県）に加え、その連結子会社である株式会社BESS札幌が運営する札幌（北海道）、同じく株式会社BESS岐阜が運営する岐阜（岐阜県）の合計11拠点のBESS LOGWAYによるグループであり、顧客との直接の工事元請契約によるBESS企画型住宅等の提供を主要事業としております。なお、営業の集約化により固定費削減を図るため、不採算拠点となっていた千秋（秋田県）を6月末に、水戸（茨城県）を10月末にそれぞれ閉鎖し、2023年12月末時点の運営拠点は9拠点となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は、3,695百万円（前年同期比8.8%減）となり、セグメント損失が94百万円（前年同期は56百万円の損失）となりました。セグメント契約（受注）高は、2,732百万円（同2.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比で2,496百万円減少の8,698百万円、負債は同5,341百万円減少の4,971百万円、純資産は同2,845百万円増加の3,726百万円となりました。それぞれの主な増減要因につきましては、次の通りであります。

総資産につきましては、「有形固定資産」が2,731百万円の減少及び「繰延税金資産」が600百万円の減少に対し、「現金及び預金」が1,164百万円増加したこと等によります。

負債につきましては、「短期借入金」が2,894百万円の減少及び「一年以内返済予定長期借入金」が1,406百万円の減少、さらに「仮受金」が705百万円、「その他流動負債」が405百万円それぞれ減少したこと等によります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益2,821百万円を計上したこと等によります。その結果、自己資本比率は42.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月14日に公表した数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,199,386	4,363,783
売掛金及び完成工事未収入金	980,372	962,241
リース債権	14,810	11,995
商品	459,376	296,578
貯蔵品	108,268	75,089
仕掛販売用不動産	589,108	403,593
未成工事支出金	158,898	124,046
その他	343,685	254,427
貸倒引当金	△216,288	△225,315
流動資産合計	5,637,618	6,266,439
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,165,327	821,615
その他	2,720,402	2,260,694
減価償却累計額	△1,818,404	△1,746,458
その他（純額）	901,998	514,236
有形固定資産合計	4,067,326	1,335,852
無形固定資産		
その他	20,092	27,520
無形固定資産合計	20,092	27,520
投資その他の資産		
関係会社株式	20,000	20,000
繰延税金資産	610,988	10,943
その他	855,180	1,062,834
貸倒引当金	△15,729	△24,826
投資その他の資産合計	1,470,439	1,068,951
固定資産合計	5,557,857	2,432,323
資産合計	11,195,476	8,698,763

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	1,265,798	948,455
短期借入金	2,894,400	-
1年内返済予定の長期借入金	1,541,363	134,854
未払法人税等	9,775	853,400
前受金及び未成工事受入金	948,321	631,530
契約負債	124,724	112,315
仮受金	705,000	-
賞与引当金	50,434	69,184
役員賞与引当金	4,170	1,800
工事損失引当金	-	746
その他	889,499	483,784
流動負債合計	8,433,484	3,236,071
固定負債		
長期借入金	764,117	669,589
契約負債	127,225	129,755
退職給付に係る負債	64,428	71,671
株式給付引当金	36,912	40,253
役員株式給付引当金	148,406	116,515
資産除去債務	191,661	185,982
その他	547,502	522,150
固定負債合計	1,880,253	1,735,918
負債合計	10,313,738	4,971,990
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	671,858	671,858
資本剰余金	730,399	730,402
利益剰余金	△218,712	2,603,276
自己株式	△321,228	△319,609
株主資本合計	862,316	3,685,929
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	19,421	40,843
その他の包括利益累計額合計	19,421	40,843
純資産合計	881,737	3,726,773
負債純資産合計	11,195,476	8,698,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,755,720	9,639,470
売上原価	8,394,919	6,951,956
売上総利益	2,360,801	2,687,513
販売費及び一般管理費	2,964,112	2,687,413
営業利益又は営業損失(△)	△603,311	99
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,520	1,663
販売協力金	2,791	3,157
移転補償金	12,136	12,136
保険解約返戻金	4,133	465
受取和解金	32,000	-
その他	9,934	2,778
営業外収益合計	63,517	20,201
営業外費用		
支払利息	37,126	12,449
支払手数料	12,560	-
契約解除費用	-	10,430
その他	1,856	5,588
営業外費用合計	51,543	28,467
経常損失(△)	△591,336	△8,166
特別利益		
固定資産売却益	-	4,229,330
特別利益合計	-	4,229,330
特別損失		
固定資産売却損	-	3,713
事業構造改善費用	11,880	-
特別損失合計	11,880	3,713
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△603,216	4,217,450
法人税等	9,823	1,395,461
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△613,040	2,821,989
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△613,040	2,821,989



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△613,040	2,821,989
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△8,079	21,422
その他の包括利益合計	△8,079	21,422
四半期包括利益	△621,119	2,843,411
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△621,119	2,843,411

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P 社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,654,183	3,235,375	3,866,160	10,755,720	-	10,755,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,519	1,495,582	185,253	1,683,355	△1,683,355	-
計	3,656,703	4,730,958	4,051,414	12,439,076	△1,683,355	10,755,720
セグメント利益又は 損失(△)	240,634	△227,292	△56,629	△43,287	△560,024	△603,311

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引の消去83,126千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△643,150千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	直販部門	販社部門	B P 社	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,354,008	2,698,645	3,586,815	9,639,470	-	9,639,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,350	1,477,522	108,788	1,620,661	△1,620,661	-
計	3,388,359	4,176,168	3,695,604	11,260,131	△1,620,661	9,639,470
セグメント利益又は 損失(△)	436,672	352,907	△94,314	695,265	△695,166	99

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引の消去70,344千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△765,510千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

生産・受注及び販売の実績

①前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高	当第3四半 期連結累計 期間契約高	計	当第3四半 期連結累計 期間販売高	次期繰越高		当第3四半 期連結累計 期間施工高
						契約残高	うち施工高	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	171	320	491	321	170	-	-
	ログハウス等工事	4,425	2,402	6,827	3,186	3,640	114	3,193
	その他	0	16	16	146	-	-	-
	(小計)	4,597	2,739	7,336	3,654	3,811	114	3,193
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	2,570	2,119	4,690	3,020	1,670	-	-
	その他	-	-	-	215	-	-	-
	(小計)	2,570	2,119	4,690	3,235	1,670	-	-
B P社	ログハウス等 部材キット販売	15	25	40	38	2	-	-
	ログハウス等工事	4,956	2,601	7,558	3,821	3,736	25	3,816
	その他	-	-	-	6	-	-	-
	(小計)	4,971	2,627	7,598	3,866	3,738	25	3,816
合計		12,139	7,486	19,625	10,755	9,220	140	7,010

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高+次期繰越施工高-前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。

②当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

セグメント 区分	品目名称	前連結会計 年度繰越高	当第3四半 期連結累計 期間契約高	計	当第3四半 期連結累計 期間販売高	次期繰越高		当第3四半 期連結累計 期間施工高
						契約残高	うち施工高	
直販部門	ログハウス等 部材キット販売	110	186	297	237	59	-	-
	ログハウス等工事	3,434	1,954	5,388	2,977	2,411	154	2,948
	その他	0	13	13	139	-	-	-
	（小計）	3,546	2,154	5,700	3,354	2,471	154	2,948
販社部門	ログハウス等 部材キット販売	1,546	2,056	3,602	2,442	1,160	-	-
	その他	-	-	-	256	-	-	-
	（小計）	1,546	2,056	3,602	2,698	1,160	-	-
B P 社	ログハウス等 部材キット販売	2	69	71	41	30	-	-
	ログハウス等工事	3,564	2,551	6,116	3,541	2,575	17	3,526
	その他	-	-	-	3	-	-	-
	（小計）	3,567	2,621	6,188	3,586	2,605	17	3,526
合計		8,659	6,831	15,490	9,639	6,237	172	6,474

- (注) 1 前連結会計年度以前に契約したもので、契約の更改等により金額に変更のあるものについては、当期契約高に含めております。
- 2 次期繰越高のうち施工高については、未成工事支出金により手持工事の施工高を推定したものであります。
- 3 「ログハウス等工事」の施工高は（売上高+次期繰越施工高-前期繰越施工高）に一致しております。
- 4 各部門の「その他」（販促物販売収入等）は、契約高の繰越管理を行っておりませんので、「前期繰越高」「当期契約高」及び「次期繰越高」の欄の記載は行っておりません。